

中川善之助 なかがわ ぜんすけ 民法學者。明治二十年十一月十八日東京神田生乳  
 昭和五十年二月二十日歿（八九七—一九七五）。筆名光禪寺五郎。大正十年  
 東京帝國大學法學部獨法科卒。昭和二年東北帝大教授、四十一年金澤  
 大學學長。この間、あか社會福祉審議會會長、著作權制度審議會會長等々  
 務めた。

著書に『妻妾論』（昭和十一年一月）『二十一箇中央公論社』、『戦後の  
 思想問題』（他六名合著、昭和十四年九月十五日第一書房）『戦時體制  
 版一』、『雪やけ・陽やけ—スポーツ隨筆』（昭和十五年二月十八日  
 河出書房）、『女の一生（女と家と社會）』（昭和二十一年十一月二  
 十日行人社）、『新憲法と家族制度』（憲法普及會編、昭和二十二年  
 五月）『二十箇國と書院—新憲法大系』、『新女性全書・生活篇』（合  
 著・岡澤一夫編、昭和二十二年十一月十五日鎌倉文庫）、『婚姻と離  
 婚』（昭和二十五年一月十五日寶文館）、『女大學』批判』（昭和  
 二十七年十一月）『二十五箇河出書房』、『民法 活きこころの判例』（昭和  
 二十七年七月十五日日本評論新社）、  
 『民法風土記』（昭和四十年一月二  
 十日日本評論社）、『人生万華鏡』（  
 昭和四十二年八月十五日勁草書  
 房）等。

